

2006年 4月13日

各 位

大阪市淀川区西宮原1丁目7番31号
I D E C 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 船木俊之
(コード番号 6652)
問合せ先
責任者役職名 常務執行役員経営管理担当
氏 名 土 谷 泰 三
T E L (06) 6398-2500

2006年3月期配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2006年4月13日開催の取締役会において、2006年3月期の1株当たり期末配当金について、下記のとおり増配することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 配当異動（増配）の理由

当社におきましては、これまで、健全な財務体質の維持と経営基盤の強化を図るとともに、一方では、常に株主に対する適正な利益の還元を実現するという観点から、配当については、業績との連動性も重視し、2期連続で増配を継続してまいりました。

当期につきましては、商号を“和泉電気株式会社”から“IDEC株式会社”に変更し、「*Think Automation and beyond...*」（オートメーションを考え、ものづくりの未来を創造する）をキャッチフレーズとして、事業領域の拡大と新たな成長を目指した中期経営計画に取り組み、その初年度として一定の成果を残してまいりましたが、業績面では利益項目全てが、2005年3月期をさらに上回り過去最高益となり、経常利益、当期純利益は、2期連続で過去最高益を更新する見通しであります。

以上を勘案し、当期の期末配当金は、当初1株につき20円を予想しておりましたが、特に連結ベースの利益見通しを考慮したうえで、株主各位の当社および当社企業グループに対する日頃のご支援にお応えすべく、5円増配し25円とさせていただくことを決定いたしました。これにより中間配当金20円を加えた1株当たりの年間配当金は45円となります。

2007年3月期におきましては、年間配当50円/1株を目標として、さらなる業績の向上に努めてまいります。

なお、今後とも研究開発、設備投資計画、キャッシュフローの動向等を熟慮したうえで、利益配分による機動的な株主還元には、より一層積極的に取り組んでまいり所存でございます。

また、本件は2006年6月開催予定の第59期定時株主総会におきまして、議案としてご提案させていただく予定といたしております。

2. 2006年3月期配当（2005年4月1日～2006年3月31日）

	前回予想 (2005年10月26日発表)	今回修正	(ご参考) 前期実績 (2005年3月期)
1株当たり中間配当金	20円00銭	20円00銭	15円00銭
1株当たり期末配当金	20円00銭	25円00銭	25円00銭 (うち記念配当10円00銭)
1株当たり年間配当金	40円00銭	45円00銭	40円00銭

以 上